４－５　再編後の施設配置とコスト

（１）施設の配置と規模

公共施設の再編前後の施設配置のイメージと延床面積の推移については、次頁以降に図表を示します。

４－４に示す施設分類別の再編を行うことで、施設の延床面積は約 32.4 万㎡から約 23.8 万㎡となり、約 26.6%減少します。

（２）再編によるコスト削減効果

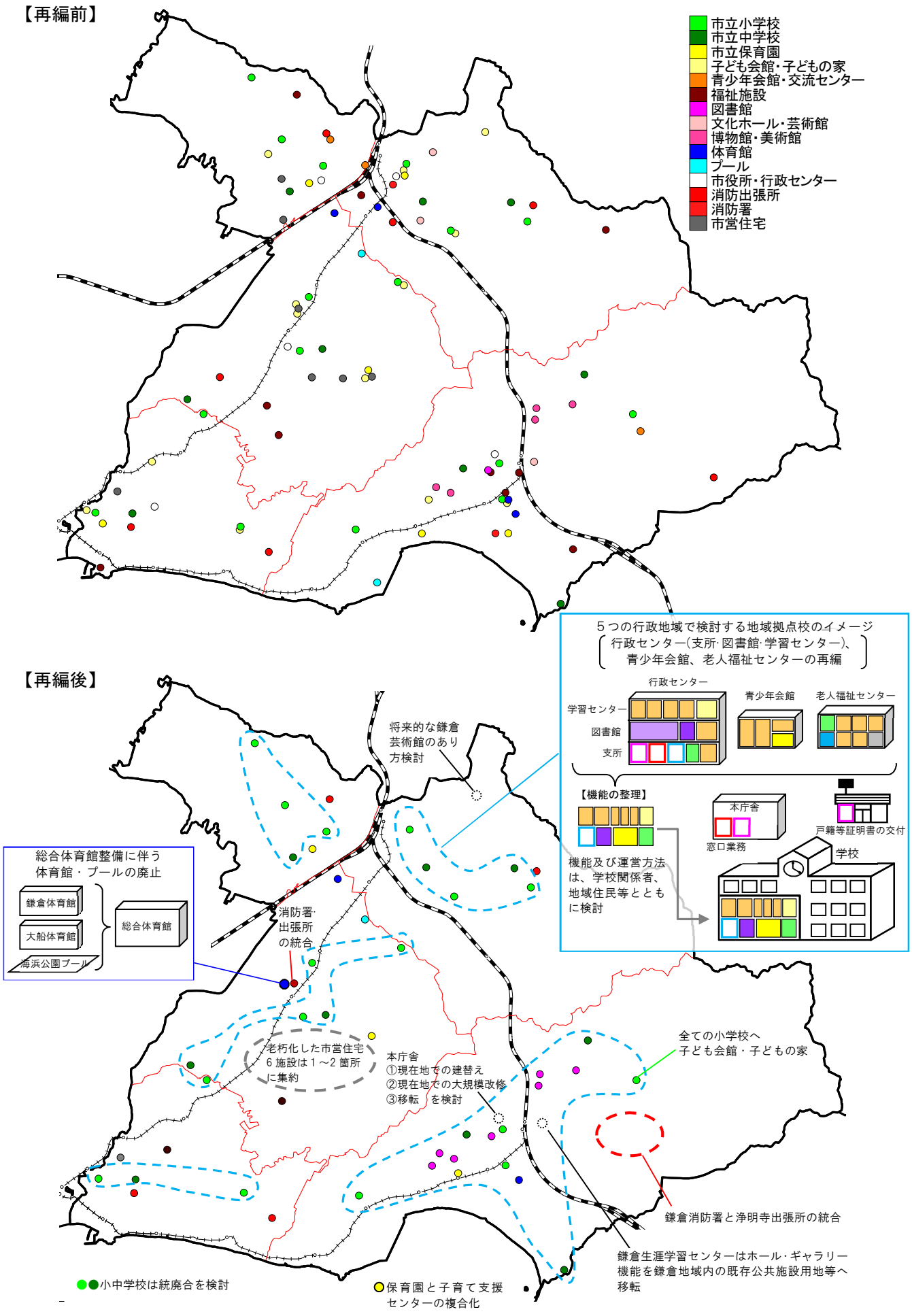
公共施設の再編によるコスト削減効果と、再編により生じた跡地の賃貸収入について算定した結果、40 年間のコスト削減効果額が約 1,027 億円になりました。

削減額の内訳は、建替え・大規模改修等の建設コストが約 253 億円、施設の維持管理・事業運営コストが約 543 億円、跡地の賃借による収入が約 231 億円となっています。

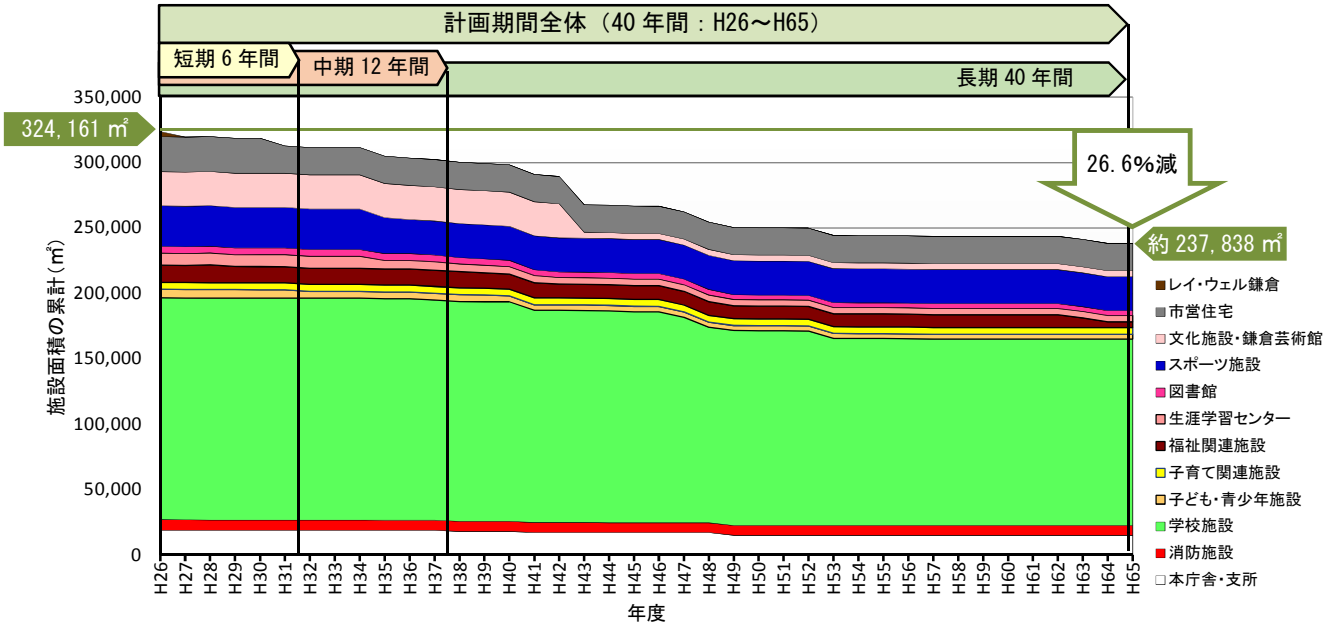
１－２でも触れましたが、本市の社会基盤施設マネジメント計画の策定が、平成 27 年度に控えていることから、その計画内容を踏まえた上で、公共施設等総合管理計画としてまとめる際、目標設定、本計画の実行スケジュール等についても、必要に応じ見直しを行うこととします。

また、本計画に基づき、具体的な事業を進めていく段階で、社会情勢等の問題から再編内容に示す事業の実施が困難となる場合、代替案の検討等によりコスト縮減を図ることとします。

図表　再編前後の配置イメージ



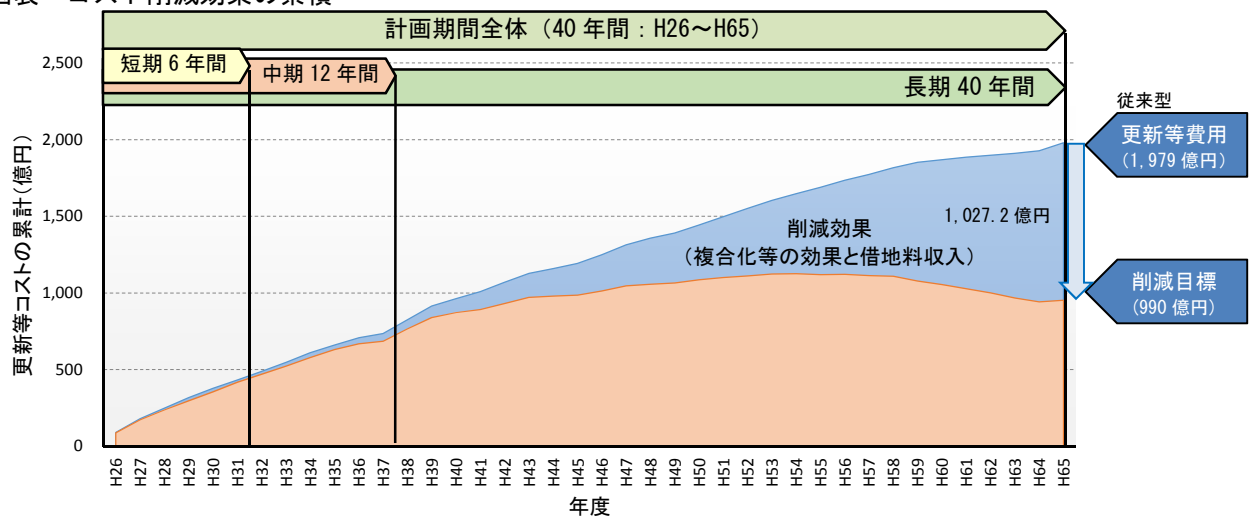
図表　再編による施設面積



図表　施設分類別のコスト削減効果

施設分類	短期（6年間：H26～H31）			中期（12年間：H26～H37）			長期（計画期間全体40年間：H26～H65）				
	トータルコスト（億円）		削減効果（億円）	トータルコスト（億円）		削減効果（億円）	トータルコスト（億円）		削減効果（億円）	削減率	削減目標に対する寄与率
	従来型	再編後		従来型	再編後		従来型	再編後			
	A	B	C=A−B	A’	B’	C’=A’−B’	A”	B”	C”=A”−B”	C”/A”	C”/D
本庁舎・支所	32.2	31.3	0.9	65.3	63.2	2.1	291.0	235.9	55.1	18.9%	5.6%
消防施設	125.4	117.4	7.9	249.0	233.5	15.5	853.8	709.7	144.0	16.9%	14.5%
学校施設	119.4	119.4	0.0	284.5	279.4	5.1	1,281.9	1,044.4	237.5	18.5%	24.0%
子ども・青少年施設	17.2	16.4	0.8	34.4	30.8	3.6	126.9	60.3	66.6	52.4%	6.7%
子育て関連施設	57.1	54.9	2.2	115.0	107.7	7.3	386.5	354.9	31.6	8.2%	3.2%
福祉関連施設	32.6	31.2	1.4	69.8	64.7	5.2	257.0	195.7	61.3	23.9%	6.2%
生涯学習施設	16.5	16.5	0.0	34.1	35.5	▲ 1.3	140.5	96.6	43.9	31.3%	4.4%
図書館	18.4	22.9	▲ 4.6	37.4	43.5	▲ 6.1	140.7	117.5	23.2	16.5%	2.3%
スポーツ施設	16.3	16.3	0.0	38.3	46.4	▲ 8.1	170.6	143.5	27.1	15.9%	2.7%
文化施設・鎌倉芸術館	60.7	59.1	1.6	113.8	110.3	3.5	406.0	235.1	170.9	42.1%	17.3%
市営住宅	15.0	25.5	▲ 10.5	40.4	41.8	▲ 1.4	159.7	64.4	95.3	59.7%	9.6%
レイ・ウェル鎌倉	11.5	▲ 3.1	14.6	20.8	▲ 3.1	24.0	67.6	▲ 3.1	70.8	104.6%	7.1%
合計	522.3	507.9	14.4	1,102.9	1,053.6	49.3	4,282.2	3,255.0	1,027.2	−	103.8%
大規模改修・建替等	52.6	61.5	▲ 9.0	162.2	185.3	▲ 23.1	1,144.1	890.7	253.4		25.6%
維持管理・事業運営	469.8	452.0	17.8	940.6	888.9	51.8	3,138.1	2,595.5	542.7		54.8%
借地料（収入）	−	▲ 5.6	5.6	−	▲ 20.5	20.5	−	▲ 231.2	231.2		23.4%

※借地料（収入）はマイナス表示（レイ・ウェル鎌倉については跡地売却を想定）

コスト削減目標 D	990.0　億円

図表　コスト削減効果の累積